



初当選し、職員が役場庁舎前で出迎える中、初登庁する鈴木重男新町長

## 鈴木重男氏が第6代町長に就任 町づくりのプロをめざして

葛巻町畜産開発公社元専務理事の鈴木重男氏（52）が第六代葛巻町長に就任、八月二十八日に初登庁し、新しい町政がスタートしました。

鈴木町長は、同日午前八時三十分から初登庁。役場庁舎前で約七十人の職員から拍手で出迎えを受けました。町長席に着くと「町の発展に全力を尽くす」と決意を新たにし、早速、町総合運動公園に向かい小中学校陸上記録会に出席。町長として初めてあいさつをしました。

午前十時三十分からは臨時庁議に臨みました。引き続き午前十一時三十分から総合センターホールで行われた就任式で職員に訓示。「どんな問題にも解決の糸口はある。ピンチをチャンスと捉え、夢の実現のため、町づくりのプロとして共に頑張りましょう。」と今後の町政運営に当たったの考え方を示しました。

鈴木町長は、元町職員で、平成十一年四月から町畜産開発公社の専務理事を務め、中村哲雄町長の勇退を受けて町長選に出馬。七月二十九日の選挙で新町長に当選を果たしました。

町政は二期八年間にわたり東北一の酪農郷と日本一のクリーンエネルギーの町を、全国に情報発信し続けた中村哲雄町長から鈴木新町長へバトンタッチされ、今後ますますの発展が期待されています。



### 鈴木重男町長

PROFILE◎すずき・しげお

昭和30年2月4日生まれ（52歳）、小屋瀬出身。昭和48年3月葛巻高校卒。同年4月役場入り。55年3月東京の農業科学化研究所に研修生として派遣。ワイン造りの基礎を学ぶ。平成7年葛巻高原食品加工(株)常務取締役、平成11年4月から19年5月まで葛巻町畜産開発公社専務理事。長女と長男は進学のため家を離れ、妻淳子さんと両親の4人暮らし。かつては日本酒党であったが、平成3年3月31日をもってアルコールにはご無沙汰中。小屋瀬地区の森林愛護少年団、少年消防クラブ、防犯少年隊の指導者として、地区の子どもたちと活動をいまだに続けている

### 就任あいさつ

このたびは、多くの町民のご支持を賜り、葛巻町長選挙に当選させていただきました。町政のかじ取り役を務めるといふ重責に、身の引き締まる思いでおります。

「ミルクとワインとクリーンエネルギーの町」として、葛巻町は全国から高い評価を受けるようになりました。町で暮らす皆様も、葛巻に少しづつ誇りを持てるようになります。また、町出身の町外で活

### 夢のあるまちづくり

葛巻町長 鈴木重男

躍されている方々からも「葛巻を自慢できるような町になった」という声が多く聞こえるようになりました。これは大変喜ばしいことであります。これからも、町が持つ自然

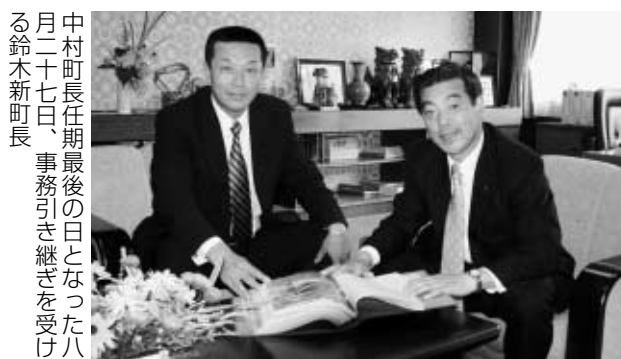
や資源を生かしながら、山村らしい町づくりを推進し、交流・定住人口の増加につながるよう鋭意努力して参ります。また、私は町の発展には基

幹産業である第一次産業の振興が重要だと確信しております。酪農や林業、畑作農業、肉牛繁殖など永続的経営が可能な施策を展開したいと考えております。さらに、商工業

や地元企業の育成強化に取り組み、積極的な企業誘致と雇用の確保に努めます。町の活性化には、町が持つ多面的な機能を最大限に活用しながら、多くの人が町を訪

れ経済効果を増すような施策を展開し続けることが重要であると思っております。教育振興や福祉、生活環境整備、少子化対策等の課題を的確に捉えながら次代を見据え、山積する諸問題の解決に誠心誠意取り組んで参ります。

夢のある町、住みよい町葛巻の実現のため粉骨砕身尽くす所存です。皆様のご指導、ご協力をお願い申し上げます。つといたします。



中村町長任期最後の日となった八月二十七日、事務引き継ぎを受け鈴木新町長

## 新町長に わたしたちは期待します!



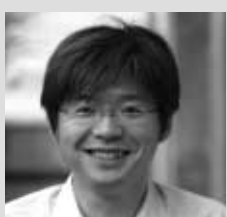
八幡勝幸さん  
農協青年部長

人口の減少に歯止めを掛けるため、農業高校を設置するとか、岩手町のホッケのような他に負けないスポーツ競技を強化するなど、町の特色をアピールしてほしいですね。



澤 幹信さん  
森林組合青年部長

間伐材の運搬費用の助成など町独自の支援を継続することで林業は発展し、後継者も育ちます。また、一流のスポーツ観戦ができるような施策で、子どもたちに夢を与えてほしいです。



四日市信也さん  
青年連合協議会長

もっと子どもがたくさん生まれる町にして、葛巻と葛巻高校をぜひ残してほしいですね。私たち青年会も交流ハイティーを開くなど若者にとって魅力ある町、町を元気つける活動をします。



野手 章さん  
商工会青年部長

第3セクターに来た人が「まちなか」にも足を運んでもらえるような工夫を望みます。みんなが住みたい、元気あふれるまちづくりに期待します。自分が幼かったころの町のにぎわいをもう一度取り戻せたらいいですね。